

がん感染症疾病対策課感染症対策係
 担当 長田、磯野
 直通：092-643-3268
 内線：3079・3083

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和元年第21週（令和元年5月20日～令和元年5月26日）

福岡県感染症情報センター

■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	18	397	354	7,667
腸管出血性大腸菌感染症	4	29	56	438
デング熱	2	7	7	116
レジオネラ症	2	27	26	513
ウイルス性肝炎	1	8	3	111
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	13	10	352
水痘（入院例）	1	11	10	166
梅毒	5	95	69	2,325
百日咳	13	445	242	5,922
麻しん	4	9	32	533

■ 定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国(前週)	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
インフルエンザ	93	0.47	0.68	4,559	0.92
RSウイルス感染症	37	0.31	1.06	862	0.27
咽頭結膜熱	129	1.08	1.87	1,342	0.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	479	3.99	0.98	9,048	2.86
感染性胃腸炎	987	8.23	1.01	22,182	7.00
水痘	55	0.46	1.20	953	0.30
手足口病	672	5.60	2.26	3,048	0.96
伝染性紅斑	170	1.42	0.79	2,899	0.91
突発性発しん	98	0.82	1.23	1,489	0.47
ヘルパンギーナ	90	0.75	2.50	602	0.19
流行性耳下腺炎	27	0.23	0.71	331	0.10
急性出血性結膜炎	1	0.04	-	9	0.01
流行性角結膜炎	21	0.81	0.62	418	0.60
細菌性髄膜炎	2	0.13	-	11	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	9	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0.00	64	0.13
クラミジア肺炎	0	0.00	-	1	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	0.00	288	0.60

■ コメント

- ・今週は、県内で麻しん（はしか）の報告が4件ありました。麻しんの主な症状は、発熱、咳、鼻水、眼の充血、口の中の白色斑点です。海外から帰国した後などに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に電話連絡の上、公共交通機関等は利用せずに受診してください。
- ・また、手足口病の定点当たりの報告数が警報の基準値である「5」を超え、県内で流行している状況です。感染予防法など詳しくは次のページをご参照ください。
- ・福岡県感染症情報ホームページ(http://www.fihef.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)では、感染症発生情報、病原体検出情報などを公開しています。

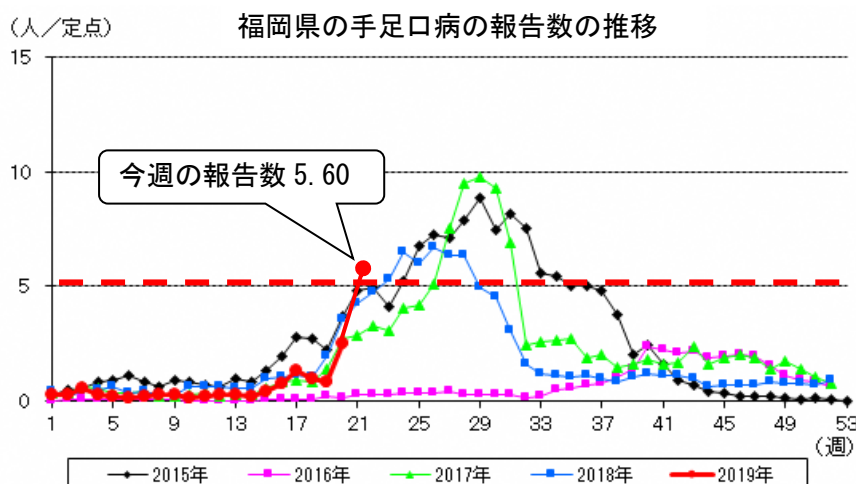
手足口病とは

手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。しかし、まれですが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症のほか、心筋炎、神経原性肺水腫、急性弛緩性麻痺など、さまざまな症状が出る場合があります。

各保健所の発生状況（第21週）

	報告数	定点当たり
福岡市中央区	9	3.00
福岡市博多区	41	10.25
福岡市南区	29	5.80
福岡市早良区	63	12.60
福岡市東区	9	1.80
福岡市西区	34	8.50
福岡市城南区	22	7.33
北九州市	45	1.88
大牟田市	10	2.50
久留米市	24	4.00
宗像・遠賀	27	3.86
粕屋	78	11.14
筑紫	91	9.10
糸島	34	11.33
田川	12	3.00
北筑後	32	6.40
南筑後	32	4.00
京築	48	9.60
嘉穂・鞍手	32	4.00



○ 予防対策について

手足口病は、治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されますし、また、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合もあると考えられることから、日頃からのしっかりと手洗いが大切です。

一般的な感染対策は、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することです。特に、保育施設などの乳幼児の集団生活では、感染を広げないために、職員と子ども達が、しっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつを交換する時には、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。

手洗いは流水と石けんで十分に行ってください。また、タオルの共用はしてはいけません。